鳥羽商船高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	工業簿記	
科目基礎情報							
科目番号	24114		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	情報機械システム工学科		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	みんなが欲しかった! 簿記の教科書 日商3級商業簿記,978-8132-9606-5, T A C 出版						
担当教員	中井 一文						
到達目標							
1. 簿記の流れを説明できる 2. 総勘定元帳を作成できる 3. 試算表を作成できる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	簿記3級程度の簿記の流れを説明できる		授業で取り上げた例の簿記の流れを説明できる		簿記の流れを説明できない		
評価項目2	簿記3級程度の総勘定元帳と試算表を作成できる		授業で取り上げた例の総勘定元帳と試算表を作成できる		総勘定元帳と試算表を作成できない		
評価項目3	簿記3級程度の試算表を作成できる		授業で取り上げた例の試算表を作成できる		試算表を作成できない		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	工業簿記は製造業を始めとした各種業界において利益が出ているか計算するための必須技能である。本授業では、日商商業簿記3級をベースに学習を進め、工業簿記に必要な知識を修得していく。						
授業の進め方・方法	教科書の例題を中心に勉強していく。毎回の授業で課題を設定するので忘れずに提出すること。インターネットやアプリに簿記に関する無料の問題集がたくさんあるので復習に利用すること。						
注意点	企業における経済活動としてお金や物品のやりとりがあることを意識する。個人で日商商業簿記3級の合格を目指すよりよい。工業簿記の資格は簿記2級からあるため、商業簿記3級の知識がベースとして必要である。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
後期	3rdQ	週	授業内容	週ごとの到達目標			
		1週	簿記の基礎	簿記の基礎を説明できる。			
		2週	商品売買	商品売買について仕訳ができる。			
		3週	現金預金 手形と電子記録債権	現金預金について仕訳ができる。 手形と電子記録債権について仕訳ができる。			
		4週	有形固定資産	有形固定資産について仕訳ができる。			
		5週	その他の取引 (1)	未収入金等について仕訳ができる。			
		6週	その他の取引 (2)	受取商品券等について仕訳ができる。 その他の収益・費用等について仕訳ができる。			
		7週	中間試験				
	4thQ	9週	試算表	試算表を作成できる。			
		10週	伝票と仕訳日計表	伝票と仕訳日計表を作成できる。			
		11週	決算手続き (1)	決算手続きの流れを説明できる。			
		12週	決算手続き (2)	決算生理の各種手続きを作成できる。			
		13週	工業簿記と商業簿記	工業簿記と商業簿記の違いを説明できる。			
		14週	原価計算	製造業における原価を計算できる。			
		15週	期末試験				
		16週	期末試験の解説				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	60	0	0	0	40	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0